

第 3 章

委員会・分科会の活動概要



技術開発委員会

活動方針	技術に関して組合員のレベル向上に努める
事業内容	<ul style="list-style-type: none">工場見学会の開催(鉄鋼メーカー、鍛造メーカー他)技術講演会の開催(新技術、加工技術、素材等)勉強会の開催(委員会メンバーの親睦と関連情報の紹介)
委員長沿革	平成22年度(2010年)～ 大場康弘(株式会社コクブ) 平成26年度(2014年)～ 豊田裕司(株式会社巴製作所) 平成28年度(2016年)～ 田中栄史(有限会社三協鐵工所) 平成31年度(2019年)～ 松田英男(マツダ株式会社)

※平成22年度(2010年)～平成26年度(2014年)までは研究開発委員会

背景および経緯

関西ねじ協同組合発足以来、研究開発委員会は、「ねじの腐食寿命予測と試験方法の検討」に関する研究に取り組み、FCK法という大きな活動成果を得ました。創立10年を迎え、次のステップへと移行するため、表面処理の研究テーマを終了し、新しい研究テーマを検討する「研究開発テーマ検討グループ」を立ち上げました。

新テーマの検討は、当初、豊田裕司氏が中心となって、組合員が共同で研究できるテーマを模索しておりましたが、技術開発ニーズがつかめないうち、「技術に関して組合員のレベル向上に努める」活動方針のもと、工場見学会、技術講演会、委員会メンバーによる交流会や勉強会等の活動を通じ、ねじ材料・加工についての技術情報や最先端の技術情報等を発信してまいりました。今後も、共同で研究できるテーマを探究していきます。

活動内容

■ 平成24年度(2012年)～平成25年度(2013年)

1. 屋外曝露試験片観察データ分析
2. 特許権を保有する屋内加速試験条件の周知と普及
3. 活動成果報告書の作成及び配布、組合員向け発表会の開催

■ 平成26年度(2014年)

1. 次期テーマの検討として4回の技術講演会を開催
話題は、研究機関の紹介、新素材の紹介、ねじの標準化の動向、女性の活躍、ねじの発明、ねじの事故例など
2. FCK法の普及
国内外の腐食に関する会議でFCK法を紹介

■ 平成27年度(2015年)～平成28年度(2016年)

1. 連続勉強会 全7回「技術者のためのねじの力学」を開催
<神戸大学大学院 海事科学研究科 福岡俊道教授>

2. 技術講演と見学会

- 技術講演「ねじの破損と防止対策」
佐賀大学 西田新一名誉教授
- 見学会「加工成形科・金属材料科のラボツアー」
大阪府立産業技術総合研究所 訪問



■ 平成29年度(2017年)

1. 工場見学会

- HILLTOP 株式会社 訪問
「HILLTOP System による多品種・単品・24 時間無人稼働」の見学
- 大同特殊鋼株式会社知多工場 訪問
自動車向け構造用鋼をはじめステンレス鋼、工具鋼、高合金鋼まで世界最高水準の特殊鋼一貫製造工場を見学



- 日本精線株式会社枚方工場 訪問
ナスロン(金属繊維)などの高付加価値製品や高合金ワイヤなどを製造する最先端技術を見学

2. 異業種交流勉強会

- 講演会「今さら聞けないめっきの知識・これからのめっきについて」
元大阪府立産業技術総合研究所 工学博士 オテック株式会社 森河務氏
- 大阪府鍍金工業組合青年部会と異業種交流会開催

■ 平成30年度(2018年)

1. 委員会内勉強会

- 「鉄の生産プロセス」について 山本鋼材株式会社 三代裕嗣氏
- 「新材料を活用した新製品の技術開発」について 元大同特殊鋼株式会社 丸山幹雄氏

2. 工場見学会

- JFE スチール株式会社西日本製鉄所 訪問

高度な技術力と最適生産性により、グローバルな大競争時代を勝ち抜く世界最大・最強の製鉄所の圧延と厚板ミルを中心に見学



- 新日鉄住金株式会社和歌山製鉄所(和歌山地区) 訪問

世界各地で使用される石油掘削・天然ガス開発用継目無鋼管を製造する高炉・連続鑄造設備・継ぎ目無し鋼管製造設備を見学

■ 平成31年度・令和元年度(2019年)

1. 工場見学会

- 株式会社ゴーシュー 訪問 エンジン・シャシー・トランスミッションなどの熱間鍛造自動車部品製造を見学
- 近江鍛工株式会社 訪問 世界トップレベルのリング鍛造を見学
- 大同特殊鋼株式会社 星崎工場 訪問

星崎工場技術室課長 假谷憲氏から概要説明をうけ、圧延工程を見学



2. 特殊鋼連続講演会

- 第1回「特殊鋼の概要と製造方法(溶解、精錬、鑄造、圧延、検査)等」大同特殊鋼株式会社 大阪ソリューションパートナー室 室長 石田和久氏
- 第2回「特殊鋼の試験方法やチタン合金・Ni 基合金、不適合事例等」大同特殊鋼株式会社 大阪ソリューションパートナー室 主任 小川鐘二氏

■ 令和2年度(2020年) コロナウイルス感染症対策により事業を見合わせ

■ 令和3年度(2021年)

1. Web方式による委員会を3回開催
2. 組合員向けの最先技術をテーマにした「Webセミナー」を企画

広報委員会

活動方針	機関紙「結」の定期発刊を行い情報発信・提供を行う	
事業内容	・ 機関紙「結」の年2回の発刊	
委員長沿革	創立(平成14年・2004年)～	中谷格(東和工業株式会社)
	平成18年度(2006年)～	今井敏雄(株式会社丸菱ナット製作所)
	平成20年度(2008年)～	樫本宏志(株式会社三和鋳螺製作所)

広報委員会の主な活動は、組合員及び賛助会員企業を訪問し、機関誌「結」を通じて情報発信する事です。平成15年(2003年)の「結」2号から令和5年(2023年)の45号まで113社もの企業を紹介させて頂きました。「結」31号までは印刷物としてお届けしておりましたがページ数に制限があり、詳しい情報をお届けすることが出来ませんでした。平成29年(2017年)の34号からホームページで配信する事となり、数多くの写真を通じ、より詳しく、より分かりやすい情報をお伝えできるようになりました。

10周年記念誌に書かせてもらった事ですが、「結」とは茅葺屋根の葺き替えや田植えなど共同で行う作業を言います。大きな労力が必要となる作業をみんなで成し遂げていくという精神。さらなる10年を目指し、沢山の人と交えるような広報活動を展開していきたいと思っております。

組合企業紹介 掲載企業

掲載号	掲載年月	企業名
24	平成25年(2013年)3月	太陽精工(株) (株)ニチワ
25	平成25年(2013年)8月	浪速鉄工(株) 和光金属工業(株)
26	平成26年(2014年)2月	西精工(株)
27	平成26年(2014年)8月	(株)山川鋳螺製作 (株)共立ヒートテクノ
28	平成27年(2015年)3月	(株)竹中製作所 (株)伊藤戸車製作所
29	平成27年(2015年)8月	(株)下西製作所 (株)北螺子製作所
30	平成28年(2016年)2月	(株)小野製作所
31	平成28年(2016年)7月	(有)中西精密エンジニア
32	平成29年(2017年)2月	取材先との調整が取れず休載
33	平成29年(2017年)6月	臨時特別増刷号のため休載
34	平成29年(2017年)8月	(株)東京メタル
35	平成30年(2018年)3月	紀州ファスナー工業(株)
36	平成30年(2018年)8月	(株)関西電工 (株)平和化研
37	平成31年(2019年)3月	因幡鍍金工業(株)
38	令和元年(2019年)8月	平田ネジ(株)
39	令和2年(2020年)3月	(株)酒向製作所
40	令和2年(2020年)9月	(株)大和螺子製作 (株)朝日押捻子製作所
41	令和3年(2021年)2月	コロナ禍のため取材せず
42	令和3年(2021年)7月	コロナ禍のため取材せず
43	令和4年(2022年)3月	コロナ禍のため取材せず
44	令和4年(2022年)8月	コロナ禍のため取材せず
45	令和5年(2023年)	金剛鋳螺(株) (株)オー・ピー・ジ (株)松徳工業所

第 24 号 結 平成25年(2013年)3月1日

結(ゆい) 第 24 号

発行 関西ねじ協同組合 広報委員会
〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-16 毎日まどろ TEL.06-6974-0531 FAX.06-6975-2181
E-mail info@kansaineji.com URL http://www.kansaineji.com

関西ねじ協同組合
創立10周年記念式典&新春互礼会
挨拶する奥村 理事長

第 24 号 結 平成25年(2013年)3月1日

太陽精工株式会社

山下真嗣社長(左)
坂田正伸 営業部生産管理担当(右)

本社工場社屋

株式会社 ニチワ

橋本社長

本社工場

第 28 号 結 平成27年(2015年)3月1日

株式会社竹中製作所

竹中会長(左)と行役社長(右)

本社屋・工場

株式会社伊藤戸車製作所

伊藤社長

本社屋

第 27 号 結 平成27年(2015年)3月1日

組合員企業紹介

株式会社酒向製作所

広報委員会(坂本宏志委員長)は、熟間鍛造加工の専門メーカー酒向製作所(本社:大阪市西区九条南、酒向正博社長)の製造拠点である和歌山橋本工場を訪問(2月12日)した。

同社は1918年(大正7年)に創業、ねじ製造一筋に、1世紀におよぶ社歴を有している。熟間鍛造加工の分野において継接ボルト形状アイテムに特化した独自の製造システムを築き上げ、自動車用部品から電力及びガス・水道、住宅関連、機械継手、バルブ等の多岐にわたる締結部品ニーズに対応している。

和歌山橋本工場(和歌山県橋本市酒田町下兵庫1048)は、総敷地面積三千五百坪(実地利用可能面積2,500坪)に第1~第3工場並びに管理棟の専用施設(敷地面積合計千五百坪)を有する。戦中に橋本市に遷出をおこない、1975年(昭和50年)に更なる業務の拡張等を目指し、近郊に分散していた各拠点を現所に集約移転。

生産対応範囲は、呼び径M8-M30(材料規格JIS S45C)の長さ350mm(材料規格長さ400mm)、材質は鉄、ステンレス鋼、機械構造用炭素鋼、炭素合金鋼、クロムモリブデン鋼などに対応、アイテムは六角・四角、標準、Tボルトのほか、駆動軸径の1/3に無い間隔形状から車削・自研製造、ボルトナット等を1本より生産、月産約80万、数量ペースでは約17万本の製造がおこなわれている。

熟間鍛造プレス

IT 活用委員会

活動方針	インターネットを活用した組合の広報活動を行う	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・組合ウェブサイトの更新メンテナンス ・組合ウェブサイトを通じた組合活動活性化 ・ウェブ会議を利用した組合活動活性化 	
委員長沿革	平成20年度(2008年)～	勝亦良彰(三喜鋳螺株式会社)
	平成22年度(2010年)～	川端康弘(株式会社オー・ピー・ジ)

※平成20年度(2008年)～平成21年度(2009年)まではIT活用研究会

IT活用委員会は組合活動の広報をインターネットという媒体を通して行なう委員会である。組合ウェブサイト(www.kansaineji.com)の運営管理が主な活動内容である。

令和2年(2020年)初旬より、新型ウィルス感染症の影響にて直接的な接触制限が増え、内外での広報並びにコミュニケーションツールとしての重要性が強まる。

関西ねじ協同組合は設立初期から組合ウェブサイトを保有し、平成24年(2012年)には組合員が直接掲載内容を書き換える事ができるようになった。情報を入力公開できるフォームへ変更したことで、組合外部からの事業閲覧や企業アクセスなども増加傾向にある。



平成15年(2003年)
設立当時のウェブサイト



平成18年(2006年)
第一回リニューアル時のウェブサイト



平成24年(2012年)
10周年を機に更に機能拡大

令和2年(2020年)～
ウェブを活用した会議・
講演講習会など導入



ねじ産業振興委員会

活動方針	ねじ業界の地位向上を目指す
事業内容	・大阪鋌螺卸商協同組合との連携・アンケート調査
委員長沿革	平成26年度(2014年)～ 西川倫史(日本鋌螺株式会社)

平成26年(2014年)に理事長に就任した中江良一氏が、当時の大阪鋌螺卸商協同組合(以下、大鋌協)の理事長である増谷彰彦氏とともに、商工が連携し、それぞれの組合員に対し商工の垣根を越えて交流することにより、ねじ産業界をさらに活性化する目的に設立されたのがねじ産業振興委員会である。また、関西ねじ協同組合の中においても、その時の経営課題に焦点を当てたアンケート調査などを行い、組合員企業の経営者への情報提供を行っている。

会の主な事業は大鋌協との共催によるハイキング、バーベキュー、ゴルフコンペ、料理教室や合同新春互礼会でのねじ川柳コンテストなどを実施。また、それぞれの組合で実施している講演会に相互参加できるように便宜を図った。

また、「BCP 策定」、「働き方改革」、「環境資料作成」、「新型コロナウイルス感染拡大による影響」などをテーマとしたアンケートを実施した。

その他、一般社団法人日本ねじ工業協会主催の「55周年記念フォーラム」への参加補助や、関西ねじ協同組合20周年を契機とした組合ビジョン策定作業を行っている。



平成29年(2017年)4月 合同ハイキング



平成29年(2017年)10月 ねじ川柳コンテスト



令和4年(2022年)9月 合同ゴルフコンペ



平成30年(2018年)8月 合同クッキングスクール

海外情報委員会

活動方針	海外の産業動向を研究する年一回の海外研修を行う	
事業内容	・海外視察の実施	
委員長沿革	創立～	池田裕之(池田金属株式会社)
	平成18年度(2006年)～	西 泰 宏(西精工株式会社)
	平成24年度(2012年)～	柳原考至(ロックファスナー株式会社)
	平成30年度(2018年)～	坂元正樹(サカモト工業株式会社)

海外情報委員会は年に一度 海外視察を行っている。主にねじのユーザー企業やねじの関連企業の工場を視察し各国の経済や産業事情に関する知見を深めている。また、視察に合わせて現地の文化遺産や遺跡等を訪問し、参加者同士の交流を深める機会となっている。

渡 航 先 一 覧

年度	視察先国名	詳細
平成24年度 (2012年)	タイ	サミット中国精螺株式会社 OSG タイ工場 シチズンマシナリーミヤノアジア オカモトタイ工場
平成25年度 (2013年)	インドネシア シンガポール	GIIC 工業団地 アイアン ワイヤ ワークス インドネシア (メタルワングループ)
平成26年度 (2014年)	台湾 高雄 台北	チャイナスチール (中鋼公司) ウォルシン
平成27年度 (2015年)	フィリピン	JETRO Manila サンペドロ要塞見学 サントニーニョ教会
平成28年度 (2016年)	タイ	ミヤケフォーミング タイ シンワ エコー キタヤマヒートトリートメント
平成28年度 (2016年)	ドイツ スイス フランス	BMW 工場見学 バーゼルワールド (見本市) Arnold Umformtechnik (ねじメーカー) シュトゥットガルトファスナーショウ見学 メルセデス・ベンツ工場見学

平成29年度 (2017年)	ベトナム ホーチミン	メタレックス 市内視察	ベトナム見学 (展示会) 中央郵便局 戦争博物館 人民委員会統一会堂
平成30年度 (2018年)	フランス モナコ公国 イタリア		Wuseo dell' Automonile di Torino (自動車博物館) AGRATI GROUP 社 (ねじメーカー) FASTENER FAIR 見学 (展示会) ミラノ市内視察
令和元年度 (2019年)	ベトナム ハノイ		VIET THANG 国際発展 (株) 見学 JHL グループ・ホアンロン人材派遣 (株) 見学



平成25年(2013年)2月 タイ・シチズン



平成27年(2015年)3月 台湾・チャイナスチール



平成29年(2017年)3月 ドイツ・ファスナーショウ



平成30年(2018年)9月 イタリア・



令和元年(2019年)10月 ベトナム・ホアンロン

人材開発委員会

活動方針	現人材の高度化、新人材の採用等の課題に取り組む	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技能講習会 ・ 従業員対象の講習会や研修会 ・ 経営者対象の講演会 ・ 工場見学会 	
委員長沿革	創立(平成14年・2002年)～ 平成18年度(2006年)～ 平成20年度(2008年)～ 平成22年度(2010年)～ 令和4年度(2022年)～	北井啓之(ケーエム精工株式会社) 中江良一(紀州ファスナー工業株式会社) 豊田裕司(株式会社巴製作所) 由良宜彦(嘉亀鋼業株式会社) 後藤達紀(株式会社朝日押捻子製作所)

※創立(平成14年・2002年)は経営革新委員会、平成15年度(2003年)～平成17年度(2005年)までは人材確保検討委員会

人材開発委員会の前身は設立当初の「経営革新委員会」である。その後、人材確保推進事業に取り組むため、人材確保検討委員会に改組した。3年に渡る同事業が終了した2006年に現在の人材開発委員会として活動を行なっている。同委員会での「技能検定制度」に関する取り組みが礎となり「資格制度委員会」の立ち上げにつながっている。

人材開発委員会では、人材の高度化を目的として各種の講習会・研修会・講演会・工場見学会など多彩な事業を毎年数多く積極的に行なっている。



上から

平成26年(2014年)7月 「決算書の見方・考え方」講演会

平成27年(2015年)6月 「ビジネスマナー」研修会

平成27年(2015年)8月 「経営計画の作り方」講演会



左:平成28年(2016年)3月 コベルコ建機株式会社
工場見学会

下:平成28年(2016年)8月 マーケティングセミナー



上:平成29年(2017年)3月 阪村産業株式会社
工場見学会

右:平成29年(2017年)7月 「コミュニケーションマナー」
研修会

下:平成30年(2018年)8月 ダイドー株式会社
工場見学会



コロナ禍において活動はここ3年自粛してきたが、20周年を迎えるにあたって今年は積極的に活動を行っていく予定である。

福利厚生委員会

活動方針	構成会員の従業員並びに家族を対象とした福利厚生の充実を目指す	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・親睦ボウリング大会 ・日帰りグルメツアー ・家庭常備薬、カーリース、各種保険の斡旋[平成26年度まで] 	
委員長沿革	創立(平成14年・2002年)～ 平成18年度(2006年)～ 平成27年度(2015年)～ 令和2年度(2020年)～ 令和4年度(2022年)～	久保清一(金剛鋳螺株式会社) 夏原和哉(株式会社ナツハラ) 夏原和哉(株式会社ナツハラ) グループリーダー中谷成智(東和工業株式会社) 中谷成智(東和工業株式会社) 酒向正博(株式会社酒向製作所)

※平成27年(2015)度～令和元年(2019)度まで[福利厚生委員会]は[交流委員会 福利厚生グループ]

福利厚生委員会は構成会員の従業員並びに家族を対象とした福利厚生の充実を目指すという活動方針に基付いて親睦ボウリング大会+日帰りグルメツアーの開催という事業内容にて活動しています。

新型コロナウイルス感染症の影響から令和2年(2020年)～令和3年(2021年)は日帰りグルメツアーを中止、ボウリング大会も令和2年(2020年)は止む無く中止といたしました。ボウリング大会は令和3年(2021年)からロングラン開催として実施。日帰りグルメツアーは令和4年(2022年)11月に三重県の賢島方面にて実施いたしました。

日帰りグルメツアーは、令和元年(2019年)以前も地元近畿を中心に北陸から山陰方面等に毎年130名近い参加者の皆様にお集まり頂き、各地域の名産品を素材とする食事や温泉、ビンゴゲームやじゃんけん大会等で参加者の皆様に楽しんでいただいています。



平成29年(2017年)11月 久美浜・湯元館



令和4年(2022年)11月 賢島・宝生苑

日帰りグルメツアー 一覧

年度	行先	年度	行先
2012年	信楽松茸近江牛 魚松	2017年	久美浜かに 湯元館
2013年	若狭ふぐかに せくみ屋	2018年	長浜近江牛 ホテル&リゾート長浜
2014年	信楽松茸近江牛 魚松	2019年	鳥取かに 千年亭
2015年	福井越前かに 三国観光ホテル	2020年・2021年	コロナ禍につき中止
2016年	淡路島鯛 うめ丸	2022年	賢島伊勢海老 宝生苑

ボウリング大会は従来、一日開催を主体に桜橋ボウルで開催していましたが、桜橋ボウルの廃業に伴い令和3年(2021年)より心齋橋サンボウルに会場を変更し令和3年(2021年)～令和4年(2022年)はロングランにて開催いたしました。令和5年(2023年)以降は従来通り一日開催にて実施できるよう委員会メンバー全員で頑張っておりますので、今後とも変わらず、ご愛顧を宜しくお願い致します。



親睦ボウリング大会 団体戦 優勝企業

年度	企業名	年度	企業名
2012年	ケーエム精工株式会社	2017年	ケーエム精工株式会社
2013年	ケーエム精工株式会社	2018年	ケーエム精工株式会社
2014年	株式会社松平精工	2019年	株式会社松平精工
2015年	株式会社エコー	2020年	コロナ禍につき中止
2016年	ケーエム精工株式会社	2021年	紀州ファスナー工業株式会社

会員交流委員会

活動方針	ゴルフコンペを開催し、構成会員相互の親睦交流を深めることを目指す	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・親睦ゴルフコンペの開催 ・囲碁倶楽部の開催 	
委員長沿革	創立(平成14年・2004年)～ 平成18年度(2006年)～ 平成23年度(2011年)～ 平成30年度(2018年)～	木本寿夫(株式会社白天製作所) 木村繁雄(株式会社富士製作所) 今井敏雄(株式会社丸菱ナット製作所) 辻本康則(金剛鋌螺株式会社)

会員交流委員会は春・秋に行う年2回の親睦ゴルフコンペを主な委員会活動としている。これまでに通算39回を開催し、企業役員層を中心に企業間の交流に貢献してきた。また、平成19年(2007年)からは囲碁クラブが委員会内に新設され新たな交流の輪を広げる場となっている。

ゴルフコンペ優勝者

回	優勝者	開催地	回	優勝者	開催地
19	山川佳秀	関西 GC	29	今井裕人	秋津原 GC
20	樫本隆之	GC 四條畷	30	上田健	飛鳥 CC
21	西居厚	枚方 CC	31	六車拓哉	枚方 CC
22	江浦善照	GC 四條畷	32	北角尚弘	飛鳥 CC
23	木村文雄	春日台 CC	33	辻田稔	関西 GC
24	北角尚弘	GC 四條畷	34	西居厚	飛鳥 CC
25	安藤秀人	聖丘 CC	35	池田栄治	関西 GC
26	樫本宏志	泉南 CC	36	石田佳史	飛鳥 CC
27	谷垣敏彦	秋津原 GC	37	北角尚弘	関西 GC
28	辻本康則	飛鳥 CC	38	今井裕人	飛鳥 CC
			39	板谷直樹	太平洋 C 六甲



囲碁クラブ：囲碁を楽しんでもらうには参加する事です。全員の日程調整をおこない、無理な時は2回の開催をおこなっています。囲碁の後は参加者全員での懇親会があり、より楽しい会になっています。 囲碁クラブ会長：創立平成18年(2006年)～ 中谷格(東和工業株式会社)、令和2年(2020年)～ 樫本宏志(株式会社三和鋌螺製作所)

総務委員会

活動方針	総会、新年会、理事会等の会合を統括し、組合運営の円滑な推進に貢献する
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総会の開催 ・ 定期的な理事会の開催 ・ 新春互礼会の開催
委員長沿革	創立(平成14年・2002年)～ 勝亦良彰(三喜鋳螺株式会社) 平成18年度(2006年)～ 箕村理(株式会社ダイロック) 平成20年度(2008年)～ 池田裕之(池田金属株式会社) 平成27年度(2015年)～ 松田洋明(株式会社ヨット印・ダイワ)

総務委員会は総会・理事会・新春互礼会・の運営や設営が主な事業である。年に7回ほど行われる理事会では各委員会の予算や事業の進捗状況が報告され円滑な組合運営を支えている。また、時に応じた業界全体の懸案事項も理事会で審議し業界の発展・活性化へ貢献している。総会では総会議事だけでなく講演会や組合事業報告会、懇親会を兼ねた有意義な内容のもとに運営を図り、多くの構成企業が出席している。また、新春互礼会は在阪ねじ商社団体の大阪鋳螺卸商協同組合と合同開催を平成15年(2003年)より隔年で行なっており、メーカー・商社の役員・従業員200名近くが一堂に会する貴重な情報交換・親睦交流の機会となっている。

近年では新型コロナウイルスの影響により、新春互礼会が中止となっており創立20周年記念祝賀会を兼ねた令和5年(2023年)の開催が期待されている。

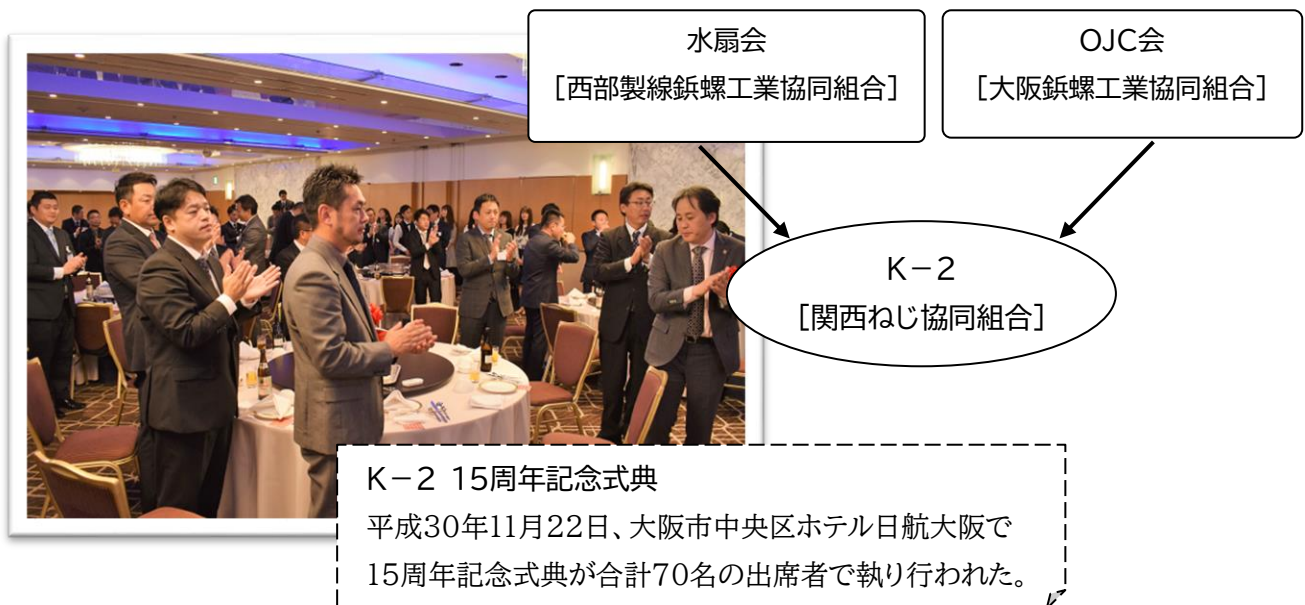


K-2(関西ねじ協同組合2世会)

活動方針	2世経営者に必要な資質・知識を養成・修得することを目指す	
事業内容	・総会、勉強会、二会合同研修会、忘年会、旅行会の開催	
代表幹事沿革	平成24年度(2012年) 第09期	佐伯 祐二(ハイテン工業株式会社)
	平成25年度(2013年) 第10期	伊藤 竜介(株式会社伊藤戸車製作所)
	平成26年度(2014年) 第11期	池田 夏来(大洋ナット工業株式会社)
	平成27年度(2015年) 第12期	川端 康弘(株式会社オー・ピー・ジ)
	平成28年度(2016年) 第13期	由良 宜彦(嘉亀鋼業株式会社)
	平成29年度(2017年) 第14期	橋本 浩(有限会社サカエ製鉄所)
	平成30年度(2018年) 第15期	谷口 佳史(中海鋼業株式会社)
	平成31年度(2019年) 第16期	椎山 和文(ハンエイファスナー株式会社)
	令和02年度(2020年) 第17期	森 雄一(森鋼材株式会社)
	令和03年度(2021年) 第18期	神山 貴至(株式会社神山鉄工所)
令和04年度(2022年) 第19期	後藤 達紀(株式会社朝日押捻子製作所)	

「K-2」は、関西ねじ協同組合設立後に在阪ねじ団体の青年部である西部製線鉄螺工業協同組合「水扇会」、大阪鉄螺工業協同組合「OJC会」が統合するとともに、ねじ商社の若手組織「OS会」の一部メンバーが参加して設立された。会の趣旨に沿い45歳を迎えると卒業となることが特徴となっている。

48名でスタートし、現在(令和4年11月)は46名と団塊の世代が卒会されながらもその数はほとんど変わらない。勉強会や忘年会などを通して会員相互の交流を深めるとともにOS会と合同の研修会も毎年行われ、2世経営者が自己研鑽と人脈を広げる会として大きな貢献を果たしている。



ねじづくりサポート会

活動方針	組合員企業と賛助会員企業との交流により相互の発展・進化を目指す	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組合員と賛助会員企業との情報交換&親睦パーティ ・ 勉強会「ねじができるまで」 	
会長沿革	平成15年度(2003年)～	澤田 斉(大阪精工株式会社)
	平成18年度(2006年)～	田中良典(田中熱工株式会社)
	平成22年度(2010年)～	坂元正樹(サカモト工業株式会社)
	平成26年度(2014年)～	森 嶋 勲(理化工業株式会社)
	平成30年度(2018年)～	小島一毅(株式会社小島鉄工所)

関西ねじ協同組合設立後まもなく、当時の理事長田島祥一氏を中心とした理事会から「ねじ等の製造を行う組合員の両輪として位置付け、技術・製造等の領域から組合員への支援および情報PRを行うべき存在」として分科会の設立が呼びかけられた。それを受け、当時の賛助会員有志企業により「賛助会員分科会」が発足された。平成24年(2012年)5月には会の趣旨を一層明確に反映させるため「ねじづくりサポート会」へ名称変更を行った。現在29社で構成されている。

会の主な事業は毎年12月に行う情報交換&親睦パーティと新入社員向け勉強会「ねじができるまで」の開催。

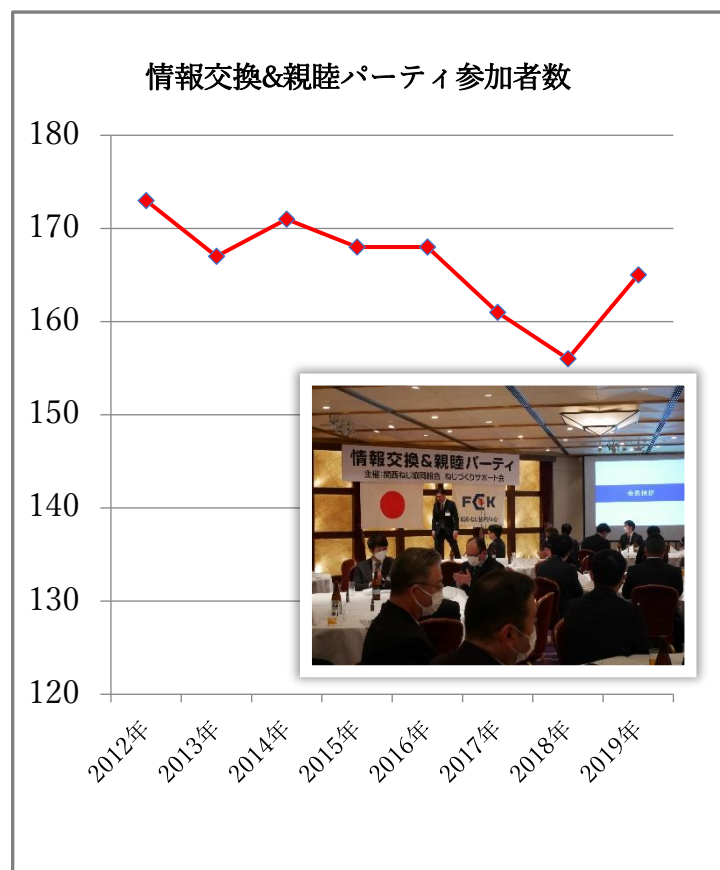
組合員の皆様そして、ねじづくりサポート会員の皆様を対象とした行事を実施し組合活動に貢献している。



平成28年(2016年)3月 技術展示会



令和元年(2019年)9月 ねじができるまで



ドリルねじ分科会(日本ドリルねじ協議会)

活動方針	会員企業の健全な発展と、ドリルねじ市場の健全な育成、並びに情報交換と会員相互の親睦調和を図る
事業内容	・ 定例総会 ・ 定例会 ・ 技術委員会 ・ ゴルフ懇親会 ・ 工場見学 ・ 勉強会
会長沿革	平成24年度(2012年)～ 藤原廣二(フジテック株式会社) 平成26年度(2014年)～ 大場康弘(株式会社コクブ) 平成30年度(2018年)～ 新城公生(株式会社九飛勢螺) 令和2年度(2020年)～ 北村幸信(北村精工株式会社)

「日本ドリルねじ協議会」は平成5年(1993年)にドリルねじメーカー13社で発足した。年一回の総会及び新年会、隔月の定例会とほどんど開設された技術委員会を主体に活動方針に沿った活動を行っている。平成13年(2001年)にはマーケット委員会が必要減を見据えて開設され一層の情報共有が図られたが平成23年(2011年)に定例会に統合された。平成14年(2002年)には、関西ねじ協同組合の分科会として参入し、同年ご指導ご協力を頂いている関係協力会社に呼びかけを行い、より一層の指導・協力と同時に会の発展を目指し賛助会員制を発足させた。

現在は、正会員12社、賛助会員12社で構成されている。

主要な活動実績は、ドリルねじに関する呼称の統一、JIS規格の作成・改訂への参画、構造用ドリルねじの規格原案作りへの参画、構造用ドリルねじの大臣認定取得に向けた活動、各種工場見学による会員の見聞拡大、勉強会実施による会員の専門知識の習得、ゴルフ懇親会開催による会員相互の親睦などを行っている。

特に各種規格書策定時点での参画は、ドリルねじを生産している各企業の意見を取りまとめて提示するなど重要な窓口としての位置づけとなっている。ここ3年近くはコロナの感染拡大で対面式の会合は開催できにくい状況が続いているが様々な状況を踏まえてWebなどを活用し情報交換を行い各社の情報を共有するとともに各社の運営に役立てている。



ゴルフ懇親会(令和4年(2022年)4月19日)



定例総会(令和4年(2022年)7月21日)

ナット分科会

活動方針	同業種の企業間で、経営・業界課題について検討し相互の成長を図る	
事業内容	・組合員との情報交換会	
会長沿革	平成17年度(2005年)～	池田栄治(大洋ナット工業株式会社)
	平成26年度(2014年)～	松本典丈(松本ナット工業株式会社)

ナット分科会では発足当初の「ナット」を製品としている組合員様を対象に、ナット業界の諸問題に対処すべく議論、意見交換を行う場としての「分科会」という趣旨を継承し様々な活動を行ってまいりました。

一つには、近年における大きな問題である「仕入れ価格の上昇」であります。原材料だけでなくあらゆる資材、エネルギー価格が上昇する状況で、商権を守りつつ自社製品への価格転嫁を行うかということが課題であります。会員の皆様にはナット分科会の情報交換会に参加していただき、様々な角度から議論、意見交換をしていただくことで意思決定、経営判断につながる情報を得ていただいていると思います。これからも会員の皆様に有益な機会としての情報交換の場を提供してまいります。

また、ナット業界を取り巻く環境が年々変化していくなか、識者の方々をナット分科会にお招きし海外の市場や鉄鋼業界の動向について講演していただきました。マスメディアには流れないような知見に富んだ様々なお話をきけて大変貴重な機会となりました。

関西ねじ協同組合発足 20 周年ということで、ナット分科会の会員様にも世代交代が進んでいます。そんな中で新しい世代の方々がナット分科会に参加されたことがきっかけで「同業他社との交流が深まり仕事のうえでも役立っています。」というお声をいただくこともあり私自身も喜びを感じるとともに、礎を築いてこられた先輩方に感謝申し上げます。

これからもナット分科会の運営に、皆様のご理解とご協力を引き続きいただけますよう宜しくお願い致します。



平成29年(2017年)3月 情報交換会



平成30年(2018年)4月 講演会

ボルト分科会

活動方針	ボルト製造企業の組合員企業との交流により相互理解を目指す
事業内容	・組合員との情報交換会
会長沿革	平成26年度(2014年)～ 西川倫史(日本鋳螺株式会社)

平成26年(2014年)に理事長に就任した中江良一氏が日本ねじ工業協会50周年記念で実施されたワークショップによる討論会にヒントを得て、従来の委員会活動とは別に、新たに組合員企業の製品別に交流活動を行うことを目的に設立されたのが分科会活動である。ボルト分科会のメンバーは「ボルト」という共通点はあるものの、製造方法(冷間、熱間、切削)、サイズ、強度区分、材料など多種多様な企業が集まっており、現在13社で構成されている。

会の主な事業は毎年3月に行う情報交換会である。特に平成26年(2014年)の JIS の改訂により JIS B 1180 附属書の廃止が明記されなかったものの、本体規格品への移行を求められたことについて、分科会において一般社団法人日本ねじ工業協会および一般社団法人日本ねじ研究協会で議論されている内容を分科会メンバーと共有することが重要な活動となった。しかし新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年(2020年)以降、情報交換会は開催できていない。

ボルト分科会 会員企業	
株式会社朝日押捻子製作所	株式会社竹中製作所
株式会社江浦製作所	日産ネジ株式会社
金剛鋳螺株式会社	日本鋳螺株式会社
株式会社協栄製作所	株式会社ヒラノファステック
有限会社三協鐵工所	松金工業株式会社
大東金属株式会社	嘉亀鋼業株式会社
	株式会社ヨット印・ダイワ



平成27年(2015年)8月 情報交換会



平成27年(2015年)12月 情報交換会

自動車部品分科会

活動方針	自動車産業に関する見識の向上と情報交換を実施することで、企業間の経営・業界課題について検討し、相互の成長を図る。		
事業内容	・情報交換会、工場見学会、講演会、講習会、課題検討会等・・・2回/年 開催		
会長沿革	平成24年度(2012年)～	中江良一(紀州ファスナー工業株式会社)	
	平成27年度(2015年)～	橋本佳隆(株式会社ニチワ)	

自動車部品分科会は、理事会では議論ができない自動車分野に限定した細かな議論が出来る会として、平成24年(2012年)に中江良一元理事長の提案から作られた5分科会の1つです。

スタート当初は情報交換懇親の場として開催し、参加企業との活動を開始しました。自動車業界の情報、材料値上げによる各社の対応状況、1つの不良も許されない「ねじ及び部品」の品質管理に関する各社の対応などの悩みを聞かせてもらう事で、自社の新たな対応策のキッカケとなることを願いながら開催しております。

引き続き自動車分科会では、数多くの企業の方々に興味をもって集まってくれるような会にする事が第一の願いです。懇親の機会を増やし、お互いに協力しあえるような関係を作りあげ、関西ねじ協同組合の会員企業の発展のお役に立てればと考えております。参加登録されていない企業様、まずは参加する事から始まりますので是非ともご参加ください。

和暦	活動日	参加者	参加企業	備考
平成24年度	平成25年3月13日	14名	13社	
平成26年度	平成27年2月27日	19名	19社	ナット分科会合同
平成27年度	平成27年10月6日	19名	19社	
平成28年度	平成29年3月3日	20名	19社	
平成29年度	平成29年10月4日	15名	15社	
	平成30年2月28日	13名	13社	
平成30年度	平成30年11月13日	40名	30社	
	平成31年3月28日	30名	24社	
令和元年度	令和元年10月9日	22名	20社	
令和4年度	令和4年9月7日	20名	20社	



平成27年(2015年)10月 講演会



平成30年(2018年)11月 情報交換会

特殊ファスナー分科会

活動方針	特殊ファスナー製造企業間で、経営・業界課題について検討し相互の成長を図る
事業内容	・組合員間の情報交換会
会長沿革	平成24年度(2012年)～ 豊田裕司(株式会社巴製作所)

特殊ファスナー分科会の紹介をさせていただきます。

当分科会はネジ部材を加工する会社9社で集まっており、どなたでも加入しやすい分科会です。20年前の関西ねじ協同組合発足当時にはなかったのですが、どの分科会にも属されていない企業から「情報交換の場を多く持ちたい」との声が上がり、協同組合発足10年後の平成24年に立ち上がりました。

会員企業は自動車以外の分野の顧客を持つ企業が多いことが特色となっておりますが、掛け持ちでももちろんOKです。

年に2回程度、懇親会にて近況報告を行って互いの親睦を図っております。

特殊ファスナー分科会 会員企業	
オーアイテック株式会社	株式会社巴製作所
株式会社酒向製作所	株式会社ナツハラ
有限会社三協鐵工所	増永産業株式会社
太陽精工株式会社	松本ナット工業株式会社
株式会社ダイロック	

気さくなメンバーばかりですので、毎回楽しく交流会ができていることが存在意義でしょうか。今後も懇親会を通じて貴重な情報交換の場であり続けたいと思います。ありがとうございました。

小ねじタッピング分科会

活動方針	同業種企業間で、経営・業界課題について検討し相互の成長を図る
------	--------------------------------

事業内容	・組合員間の情報交換会
------	-------------

会長沿革	平成24年度(2012年)～ 池田裕之(池田金属株式会社)
------	-------------------------------

※平成29年度(2017年)で活動停止

座金分科会

活動方針	同業種企業間で、経営・業界課題について検討し相互の成長を図る
------	--------------------------------

事業内容	・組合員間の情報交換会
------	-------------

会長沿革	平成24年度(2012年)～ 山本修三(株式会社山上製作所)
------	--------------------------------

※平成29年度(2017年)で活動停止

事務局取扱事業

- JIS ハンドブック斡旋(平成26年(2014年)まで)
- 中古車リース斡旋(平成27年(2015年)より)
- 家庭常備薬斡旋(平成27年(2015年)より)
- 各種保険団体加入斡旋
- 大阪鋌螺卸商協同組合 ねじ手帳等斡旋